

# ろうさいの森

Vol 163 4月号



撮影：病院長 森田 明夫



**院長略歴・資格**  
 1982年東京大学医学部卒  
 脳神経外科専門医（日本、米国）  
 脳卒中専門医、脳卒中外科技術指導医

**趣味**  
 ……料理、旅行、写真、絵画、陶芸、その他

個人ホームページはこちら

(ブログもあります)



## 新任院長からの挨拶



病院長 森田 明夫  
(もりた あきお)

皆様こんにちは、新しく当院の院長に就任しました森田明夫と申します。大学・市中病院などで40年臨床を中心に、研究、教育もしてまいりました。中でも9年間は米国で日々臨床に明け暮れる毎日でした。Mayo Clinicという米国の片田舎の街Rochesterにありながら患者満足度規模とも米国随一の病院で、その病院の標語は“The needs of the patient come first.”(患者第一)です。企画と努力で病院が光輝けることを体感しました。労災病院も決して良好な立地とは言えませんが、病院職員一同皆様と我々が「命の輝きを共有できる病院」を目指して努力しています。今後も地域に根ざした信頼できる高度で優しく着実な医療と勤労者医療・健康支援を提供してまいります。何卒よろしくお願いいたします。

## 腹部のヘルニアについて

皆さんは『ヘルニア』と聞いてどんなことを思い浮かべますか？『ヘルニア』とは臓器や組織の一部または全部が本来あるべき正常な位置から脱出している(突き出ている)病気の総称です。脱出している部位によって鼠径ヘルニア(脱腸)、椎間板ヘルニア、脳ヘルニア、腹壁瘢痕ヘルニアなどがあります。今回は『外科・消化器外科』で診察・治療の対象となる2種類の『ヘルニア』・・・足の付け根がポッコリ膨らむ『鼠径ヘルニア』と、お腹の手術を受けた際の傷の一部がポッコリ膨らむ『腹壁瘢痕ヘルニア』のお話をします。

### 日常生活で気がつくきっかけ・症状

足の付け根(鼠径部)にピンポン玉くらいの大きさのポコッとした出っ張りや寝たり横になったりすると引っ込む。あるいは、外科・婦人科・泌尿器科で手術をした際の傷の一部分が出っ張ってきた、など。患者さんの中には、入浴の際に偶然膨れているのに気づいたり、立位や歩行時の違和感で気づくこともあるようです。

### 対応

まずは、当院の外科・消化器外科を受診してください。診断はさほど難しくありませんが、状況に応じてCT検査を行うことがあります。

### 放置していいか？

横になれば引っ込んでしまい、出ていても痛みがなく、日常生活に支障がない場合はそのまま経過をみることもできますが、多少でも痛みがあったり、日常生活に支障がある場合は外科外来を受診して担当医と相談してください。

\*特に横になっても戻らなかつたり、戻そうとしてもなかなか戻らないような場合は”ヘルニアの嵌頓”といって緊急に対応しなければならぬことがあるので、放置せずすぐに病院にご連絡ください。

### 治療法

患者さんの病歴にもよりますが、当院では手術痕が小さく、体への負担の少ない腹腔鏡によるヘルニア修復術を第一選択にしています。多くの患者さんが手術を受けて2〜3日後には退院しています。



# ろうさいの森

Vol. 164 5月号



撮影：病院長 森田 明夫

看護週間が始まります

看護週間とは、看護の心、ケアの心、助け合いの心を老若男女問わずだれの心にも育つことを目指し、活動する期間のことです。

これは「クリミアの天使」とも呼ばれ、病院・看護施設の創設・改善に努力し看護婦の教育制度を整えたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日が5月12日であったことに由来します。

そこで、当院では5月12日から5月18日を看護週間とし、職員の家族が描いた「家族の絵」や「心に残った看護エピソード」を正面玄関にて掲示いたします。

また、下記の日程で「出張健康相談」を行いますのでぜひお越しください。

## 昨年度の様子



## ～出張健康相談日程～

### 【日時】

5月16日（木）  
13：30～16：00

### 【会場】

大森東特別出張所  
2F 大会議室

### 【内容】

- 身長・体重測定
- 血圧測定
- 健康相談

### 【問合せ】

03-3742-7301（代）

※参加費無料・事前申込不要



## 開院当時の東京労災病院



外来担当医表は裏面へ

この度、東京労災病院は設立75周年を迎えることができました。当院は昭和25年5月14日に開院した、全国の労災病院の中で2番目に誕生した歴史のある病院です。開院当初は内科・外科の2診療科と病棟数21床でしたが環境の変化へするため、二度の全面増改築等を踏まえ、現在では、28診療科、病床数400床を有するまでにになりました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と深く感謝しております。今後ともご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

5月14日は病院設立の日

# ろうさいの森

Vol 165 6月号



撮影：病院長 森田 明夫

## 大田区長を表敬訪問

5月21日（火）、当院の森田院長が鈴木大田区長を表敬訪問しました。院長から「高齢者医療」の重要性や「治療と就労の両立」に関する取り組みなどを説明しました。

大田区長からは賛同するお言葉をいただくとともに、今後の協力関係についても意見交換がなされました。



森田院長 鈴木大田区長

## ベルリン視察団来訪

東京都とベルリン市との友好都市提携30周年を機に、ベルリン市が訪日ミッションとして視察団を派遣し、5月16日（木）、当院に来訪されました。

ドイツでは医療分野における人材不足が問題になっていることから医療人材の育成に向けた取り組みなどの意見交換がなされました。また院内視察も行われ、放射線治療機器・免震構造を視察されました。



院内視察



意見交換会

## 看護週間イベント報告

当院では、5月12日（日）～5月18日（土）を看護週間とし、職員の家族が描いた「家族の絵」や「心に残った看護エピソード」を正面玄関にて掲示いたしました。



家族の絵・心に残った看護エピソード



## 今年度の様子



外来担当医表は裏面へ

独立行政法人労働者健康安全機構東京労災病院  
〒143-0013大田区大森南4-13-21TEL03-3742-7301

発行人 木村 幸司 編集人 内山 絢菜

# ろうさいの森

Vol. 166 7月号



撮影：病院長 森田 明夫

## 区民公開講座が 開催されました

6月11日（火）、当院大会議室にて、吉玉 隆 副院長／循環器科部長による、「**なぜ血圧が高いといけなののか**」の講演が行われ、34名と多くの方のご参加をいただきました。足を運びいただいた皆様、ありがとうございました。

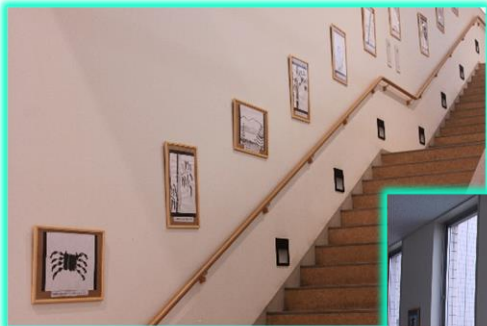
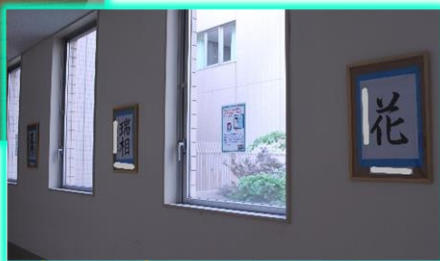
今後も様々な内容で講演を行って参ります。院内掲示等でご案内させていただきますので、是非ご参加ください。



## ホスピタルアートを 掲示しました

エントランスホールの階段及び2階生理検査室前の廊下に、大森第一中学校の生徒さん達が作成した水墨画や書道を展示しています。

ご来院の際は、ぜひご覧ください。



## 集団献血会を 実施しました

6月19日に当院西側駐車場にて、東京都赤十字血液センターによる集団献血を実施しました。コロナ禍を経て、当院では5年ぶりの実施となりました。43名の方にお申し込みいただき、39名の方に献血をしていただきました。

ご協力いただきありがとうございました。

## ほっとテラスを リニューアルしました

当院の中庭「ほっとテラス」がリニューアルされました。お時間のある際、ぜひ立ち寄ってみてください。

